



林 振	第14回みやぎ児童木工工作コンクールで教育長賞を受賞 【林業振興部】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
亘 理	亘理地域にて「シャインマスカット販売会」を開催しました！ 【農業振興部（亘理農業改良普及センター）】・・・・・・・・・・・・・・・・	2
農 振	J A新みやぎ大郷穀類乾燥調製貯蔵施設（カントリーエレベーター） が稼働しました 【農業振興部】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
水 漁	塩釜漁港越の浦地区・釜の淵地区の陸間が稼働しました 【水産漁港部】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
地 振	「まちめぐりスタンプラリー」を開催中です！ 【地方振興部】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3

第14回みやぎ児童木工工作コンクールで教育長賞を受賞

▶林業振興部

県では、「木を使い・植え・育てる」循環の仕組みが定着し、次代を担う子供たちに身近な森林や木材の良さを知ってもらおうきっかけづくりとして、毎年「みやぎ児童木工工作コンクール」を実施しております。

今年は当事務所管内の34の小学校から合計95作品の応募があり、予備審査により各部門2点合計6作品を本審査へ推薦しました。

本審査は10月1日に実施され、仙台管内から出展された6作品全てが入賞し、うち3作品が教育長賞を受賞しました。

本審査に出品された作品については、宮城木材文化ホール（仙台市宮城野区苦竹二丁目7-30）で11月12日（金）まで展示されています。

また、仙台管内の応募作品はすべて、県ホームページでもご覧いただけます。
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-r/14mokkou.html>



2だんベッドとバルコニーのあるおへや	ゴジラ VS キングギドラ	金魚の水そう
--------------------	---------------	--------

巨理地域にて「シャインマスカット販売会」を開催しました！

▶農業振興部（巨理農業改良普及センター）

2 削減を
ゼロに



8 働きがいも
経済成長も



巨理農業改良普及センターでは、シャインマスカット栽培技術の品質向上と省力化及び産地としてのイメージ定着を目的に、プロジェクト活動に取り組んでいます。

令和3年9月19日、巨理町内にある直売所「鳥の海ふれあい市場」を会場にして、巨理地域（巨理町、山元町）のシャインマスカット生産者（4名）と商品販売者（1名）による、合同販売会を実施し、産地のPRをしました。

合同販売会は、昨年に引き続き2回目の開催になります。今年は、役場や商工会等の関係機関と連携し、シャインマスカットを使った商品開発支援や、生産者・商品開発者が利用可能な共通マークを作成し、産地のPRを行いました。当日は、新鮮なシャインマスカットや新商品の購入を目的に、たくさんのお客様が直売所を訪れました。

普及センターでは、今後も技術支援や産地のPR等により、当地域のシャインマスカットの普及拡大を支援していきます。



▲ シャインマスカットイベント開催風景



▲ 商品開発例
「シャインマスカット
ブレンドソフトクリーム」



▲ シャインマスカットの
共通マーク

J A新みやぎ大郷穀類乾燥調製貯蔵施設（カントリーエレベーター）が稼働しました

▶農業振興部

2 削減を
ゼロに



令和3年9月13日、大郷町でJ A新みやぎ大郷穀類乾燥調製貯蔵施設（カントリーエレベーター）の落成式が開催されました。この施設は、令和元年東日本台風で吉田川の堤防決壊により、粕川穀物乾燥調製施設（ライスセンター）が甚大な被害を受けて使用不能になったことから、J A新みやぎ、大郷町等の関係機関が協議し、建設に至ったものです。貯蔵能力2,000t、処理面積300haであり、丸形貯蔵ビン（330t×6基）、乾燥機（15t×2基）等を備えています。

9月18日から供用開始しており、これまでの3倍にあたる1日平均124tの粉の受け入れが可能で、トラックスケール方式で重量測定が効率よく、生産者の労力削減にもなっています。9月下旬からは本格的な収穫時期に入り、収穫されたばかりの粉がトラックに積まれて次々とカントリーエレベーターに運びこまれており、生産者は施設の完成により安心して米づくりができる喜びとともに、地域農業の発展に期待を寄せています。

実りの秋、食欲の秋です。スーパー等の店頭では、生産者の思いが詰まった新米が販売されていますので、ぜひ御賞味ください。



◀ カントリーエレベーター
（正面）

▶ トラックスケール方式
による粉の重量測定



宮城県は、過去幾度となく大津波を経験し、多くの死者・行方不明者をもたらす甚大な被害を受けました。このような背景から、県では、沿岸の津波による被害を減らすため、防波堤や陸閘等の整備を進めてきました。

仙台地方振興事務所水産漁港部が管理する陸閘43基のうち、9月30日に塩釜漁港越の浦地区及び釜の淵地区の7基（うち3基が県で直接管理する自動陸閘、4基が委託管理する電動陸閘）が稼働しました。本格稼働にあたり、4基の電動陸閘を委託する宮城県漁業協同組合塩釜市第一支所と塩釜市漁業協同組合の関係者や町内会等近隣の方々、塩釜市役所の関係者を迎え、現場で実地に開閉等の操作説明を実施しました。

委託陸閘は原則出入りの都度、委託した漁業協同組合が陸閘の開閉作業を行うとともに、津波注意報や津波警報、高潮警報等が発表された際は、県や委託をした漁業協同組合が陸閘を閉扉し、津波等の被害を最小限にします。

今後、今回の7基に加え、10月末には磯崎漁港6基、今年度末までに塩釜漁港新浜地区6基、閉上漁港8基、荒浜漁港11基、そして来年度9月までに塩釜漁港新浜地区等で残り5基が稼働し、管内の陸閘がすべて稼働する予定となっております。

水産漁港部では、漁業協同組合等関係団体や市町と連携し、県の沿岸部を津波等の被害から守るため、安全・安心な漁港施設を目指し維持管理に努めてまいります。



▲ 越の浦地区



▲ 釜の淵地区

「まちめぐりスタンプラリー」を開催中です！

5つのテーマで仙台・松島エリアを巡るデジタルスタンプラリー「仙台・松島エリアで大人のミニマム旅 テーマで楽しむ 再発見まちめぐり」を10月23日（土）から12月26日（日）までの期間で開催しています。

徒歩や自転車でゆっくり移動しながら対象施設を巡ることで、地元の隠れた魅力を発見できるスタンプラリーです。

集めたスタンプの数に応じて地場産品などのプレゼントに応募できます。

新型コロナウイルス感染症により遠出ができない今、まだ知らない地元の魅力を再発見しにお出かけしてみたいはいかがでしょうか。

スタンプラリー紹介サイト ▶



再発見まちめぐりパンフレット ▶

